

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「岩村田商店街が取り組む 新たな子どもの居場所づくり」事業
事業主体 (連絡先)	岩村田本町商店街振興組合 (0267-54-8339)
事業区分	(4)安全安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,256,640 円 (うち支援金: 1,005,000 円)

事業内容

- ①「食の支援」 みんなでつくろう「子どもの食堂」
岩村田商店街らしい、取り組みにしたいと、プロの指導で子どもが作り、それを保護者と一緒に頂く。食後、こどもはご褒美として「岩村田商店街お買い物券」をもらって「商店街でお買物」を親子で楽しむ。(3回実施)
- ②「子育てパパ・ママのダベリングカフェ」
子育てに悩む保護者対象に、助産師による子育て講座実施(①と同日日程で3回)
- ③「子どもたちに学びの場」
I なおやマンプロデュースによる、「商店街と佐久こども未来館でのエコエコおもしろ大作戦」2日間の開催。
II 「感情認識型ロボット pepper を動かそう！大作戦」



【商店街の廃材をあつめて
ハイザイモンスターハウス】

【目標・ねらい】

- ①子どもの居場所づくり
- ②「商店街らしい居場所づくり」
- ③「地域資源を生かした実践」
- ④「子育て中の親の居場所」

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①においては、「食」とおして作ることの喜びと「商店街」の魅力を同時に感じてもらえることをともに実践できました。
- ②回を追うごとに、参加者も増え、3回目では父親も含め、22名の参加を得ることができた。いかに、こういう子育ての支援の場が求められているかを実証できた。
- ③ I 商店街や子ども未来館をベースにすることで、様々なことに興味関心をもつ子どもの育成につなげることができた。特に今回、父親の参加が多数。
II ロボットへの興味、関心を持たせることができた

※自己評価【 A 】

【理由】
昨年に引き続き、居場所を求める親子のための事業を、商店街の資源を100%活用して実践できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

求められるのは、それぞれの地域であったり団体らしい、「子育て支援」だと考える。今回の事業実績を踏まえ、地域が商店街に求める「子育て支援」「子どもの居場所づくり」を提供していきたい。そこに、食や、学びや、子育て相談を必ず絡めた内容で実践していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある